

平成22年2月期第2四半期決算説明資料



JASDAQコード: 7624

平成22年1月
株式会社 NaITO

目次

1. NaITOの概要	1
会社概要	2
事業内容	3
経営理念・経営ビジョン	5
株価の推移	6
2. 平成22年2月期第2四半期決算の業績	7
経営成績	8
財政状態	10
3. 今後の取り組みと業績予想	13
今後の取り組み	14
重点施策	15
業績予想	16
4. お問い合わせに関して	17

1. NaITOの概要

会社概要

社名	株式会社NaITO
代表	鈴木 斉
本社	東京都北区昭和町二丁目1番11号
設立年月日	昭和28年1月23日
従業員数	329名(平成21年8月31日現在)
証券コード	7624(ジャスダック)
資本金	22億91百万円
売上高	424億54百万円(平成21年2月期)
事業内容	切削工具、機械工具、産業機器、工作機械等の販売
取扱メーカー	国内外約1,000社
販売先	国内外約3,000社
取引銀行	みずほ銀行、りそな銀行、三井住友銀行、中央三井信託銀行
拠点数	27(平成21年10月1日現在)

平成21年8月31日現在



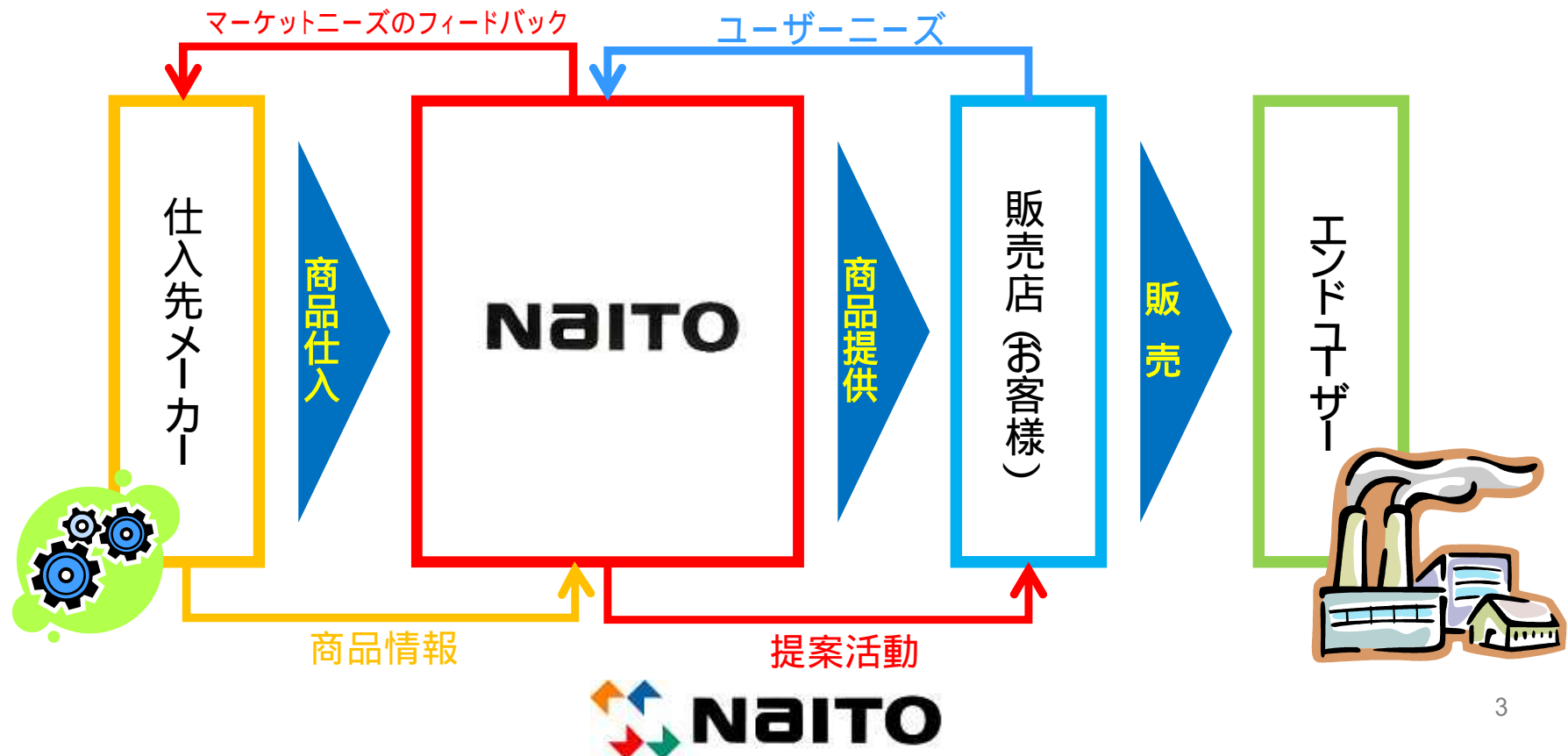
事業内容

切削工具、機械工具、産業機器、工作機械等の販売

当社は、機械工具の商社として、メーカーとお客様をつなぎ、エンドユーザーのもとへ商品をスムーズにお届けするという大切な役割を果たしております。

日本国内で、モノをつくる製造業はとても重要な位置にあります。

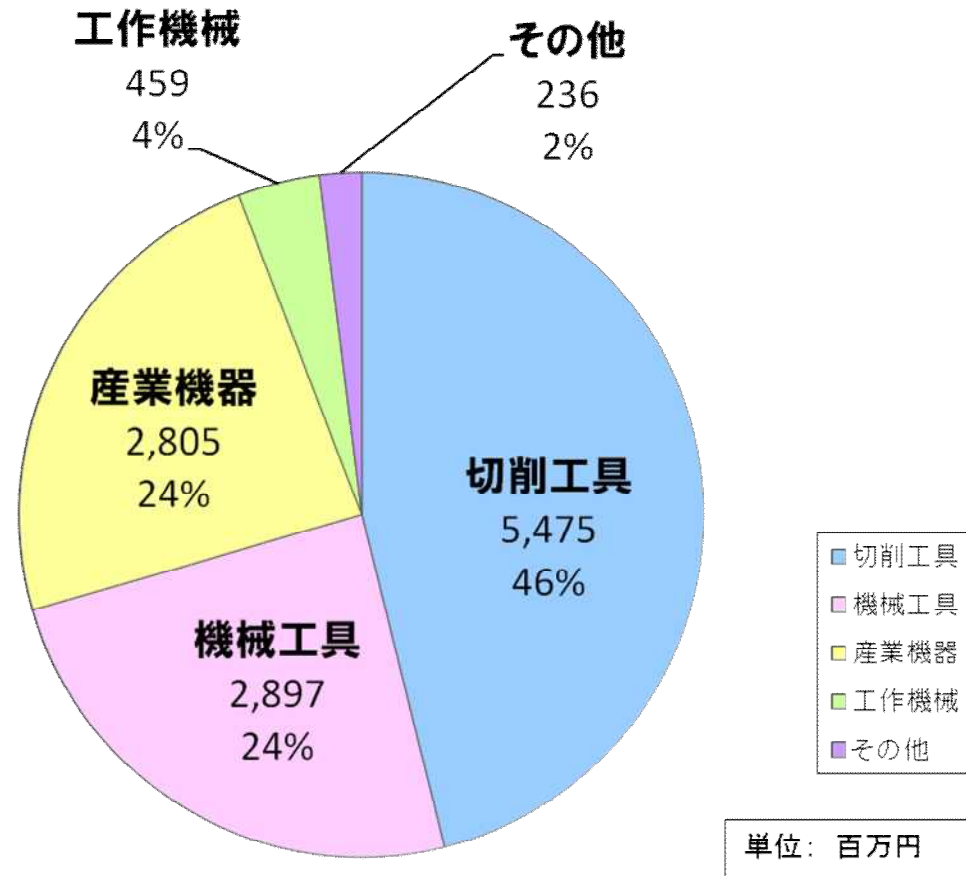
私たち機械工具商社が産業の基礎資材を円滑に供給することによって、製造業の更なる発展を支えることにつながるのです。



事業内容

(参考) 取扱商品群別の売上高(平成22年2月期第2四半期累計期間)

取扱商品	売上高(百万円)
切削工具	5,475
機械工具	2,897
産業機器	2,805
工作機械	459
その他	236
合計	11,872



経営理念・経営ビジョン

経営理念

当社は、50有余年の歴史と現在および将来を見据え、経営における基本的な価値観を醸成し持続的な発展を図る礎として、次の経営理念に基づき経営を行っております。

私たちは、国内外の事業パートナーに『最適な商品、最高のサービス』を提供し、製造業の技術革新を通して産業全体の発展に寄与します。

経営ビジョン

当社は、前掲の経営理念を基に、中長期的に会社の目指すべき姿として、次の経営ビジョンを掲げております。

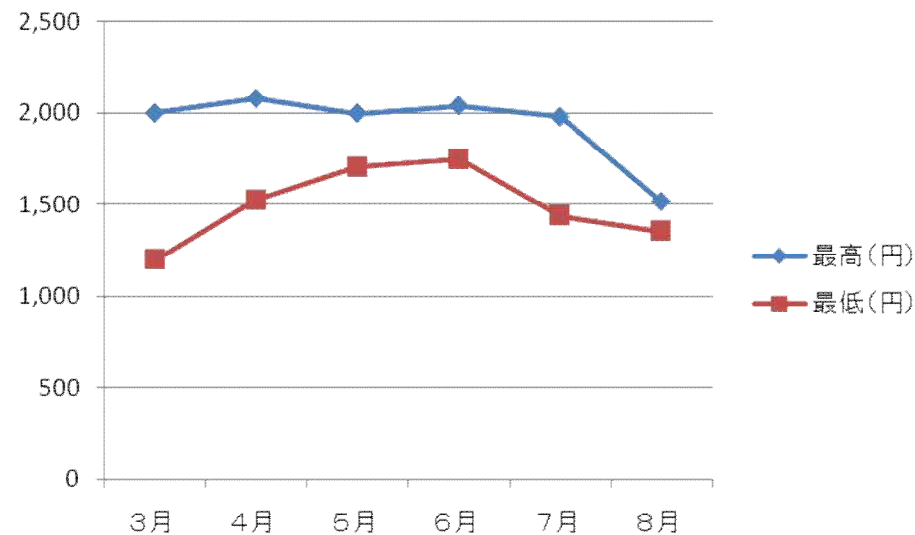
国内外の事業パートナーとともに進化する“きる”を基軸に、あらゆる機械や工具の技術コーディネーターとして、『創造性豊かな社会づくり』へ向かって最適な商品と最高のサービスを提供する企業

株価の推移

当該四半期累計期間における月別最高・最低株価

月別	平成21年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
最高(円)	2,000	2,080	1,999	2,040	1,980	1,515
最低(円)	1,200	1,525	1,705	1,750	1,440	1,356

最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものです。



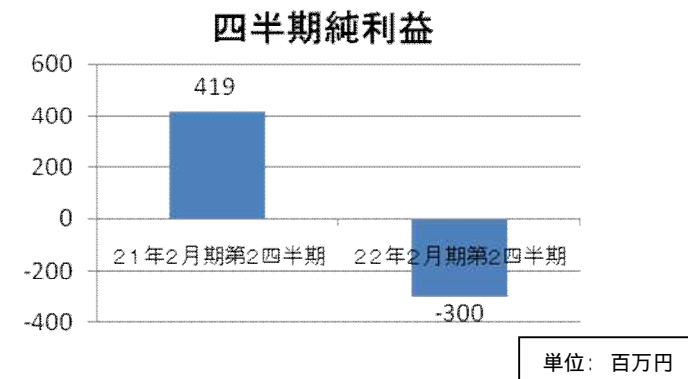
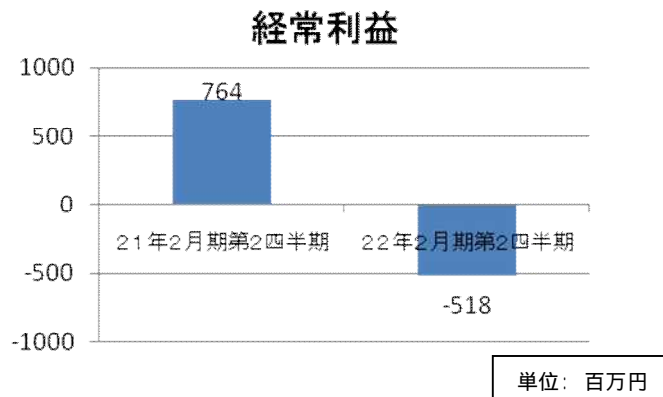
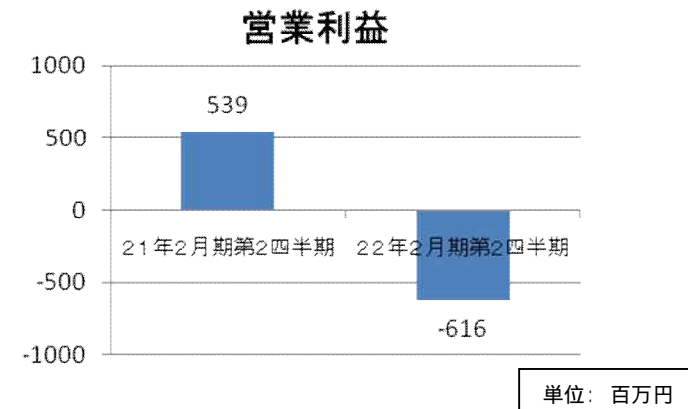
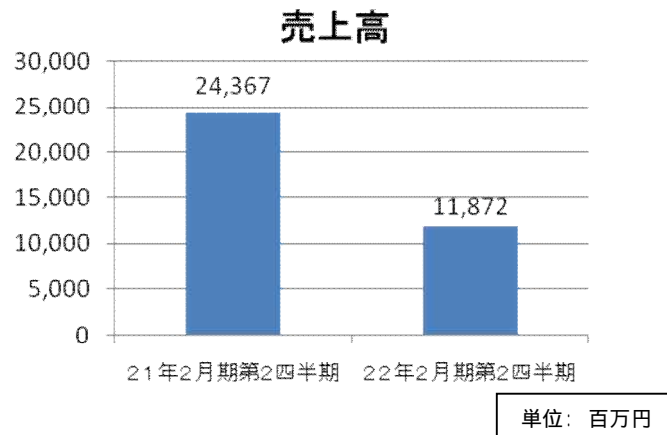
2. 平成22年2月期第2四半期決算の 業績

経営成績

当第2四半期累計期間は、エンドユーザー向けに販売店およびメーカー一体となって最適加工方法や作業効率向上の提案、新製品の紹介などに関するセミナーを積極的に開催するなどユーザーニーズを見据えた提案営業によるNESSプランの推進を図りました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は118億72百万円となりました。

利益面では、支店の移転・統廃合や物流コストの削減および物件費の削減など徹底した効率化・経費削減に注力したものの、売上高減少の影響が大きく、経常損失は5億18百万円、四半期純損失は3億円となりました。



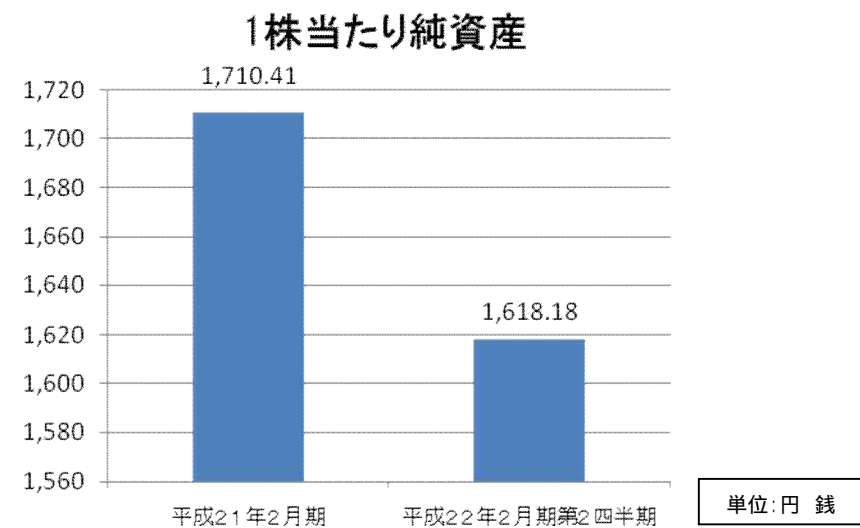
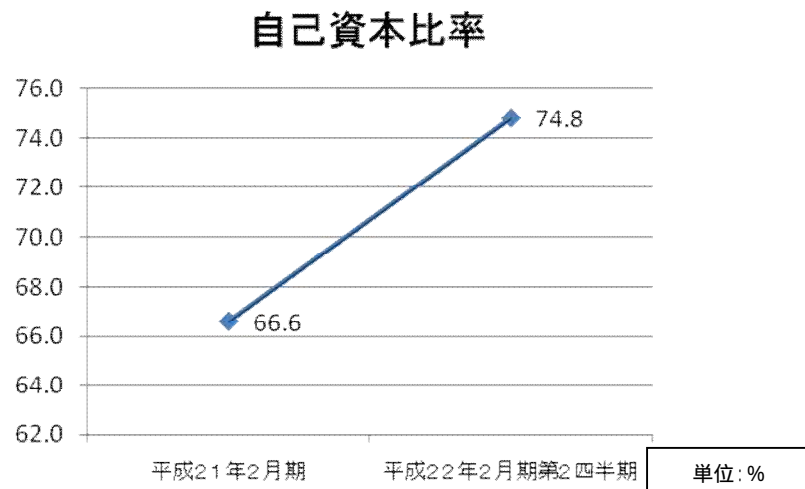
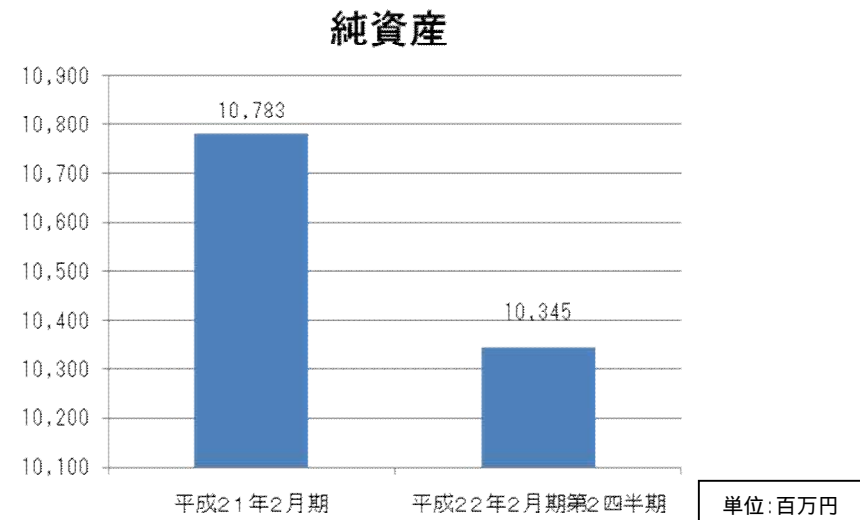
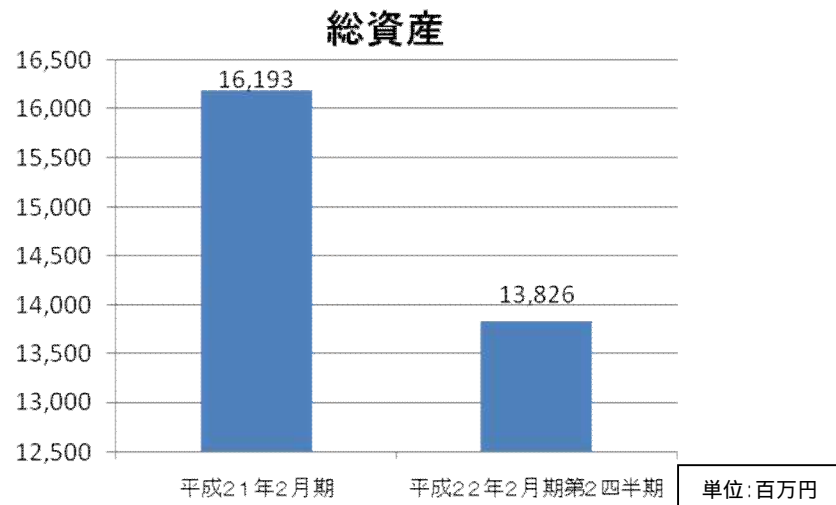
経営成績

損益計算書

単位:百万円

	当第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	前中間会計期間 (自平成20年3月1日 至平成20年8月31日)	前期比 (%)
売上高	11,872	24,367	51.3
売上総利益	1,175	2,756	57.4
販売費及び一般管理費	1,791	2,216	19.2
営業利益又は営業損失()	616	539	-
営業外収益	215	478	55.0
営業外費用	117	253	53.8
経常利益又は経常損失()	518	764	-
特別利益	118	9	1,211.1
特別損失	2	7	71.4
法人税等	101	346	-
四半期純利益又は 四半期純損失()	300	419	-

財政状態



財政状態

貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期会計期間末 (平成21年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月28日)	前期比 (%)
流動資産	11,351	13,895	18.3
固定資産	2,474	2,297	7.7
資産合計	13,826	16,193	14.6
流動負債	2,693	4,504	40.2
固定負債	787	905	13.0
負債合計	3,481	5,409	35.6
資産金	2,291	2,291	0.0
資産剰余金	2,285	2,285	0.0
利益剰余金	5,764	6,214	7.2
自己株式	10	10	0.0
その他の有価証券評価額金	14	2	600.0
純資産合計	10,345	10,783	4.1
負債・純資産合計	13,826	16,193	14.6

財政状態

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	前中間会計期間 (自平成20年3月1日 至平成20年8月31日)	前期比 (%)
営業活動によるキャッシュフロー	2,977	1,144	360.2
投資活動によるキャッシュフロー	2,029	635	219.5
財務活動によるキャッシュフロー	1,499	499	400.4
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	551	1,280	57.0
現金及び現金同等物の期首残高	1,576	1,621	197.2
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,025	340	201.5

3. 今後の取り組みと業績予想

今後の取り組み

当社は従来から進めてきたユーザーニーズを見据えた卸業に特化するという営業戦略を“NESS(ネス)プラン”と名づけ更に深化させます。その内容に関しては、次ページをご参照ください。
さらには、経営環境の悪化に対処すべく引き続き経費削減を徹底するとともに、当期から内部統制報告制度および四半期報告制度が導入されております。これらの課題にも全社一丸となって遺漏なく取り組んでいく所存です。

NESSプランの遂行

経費削減の徹底

内部統制報告制度および四半期報告制度の対応

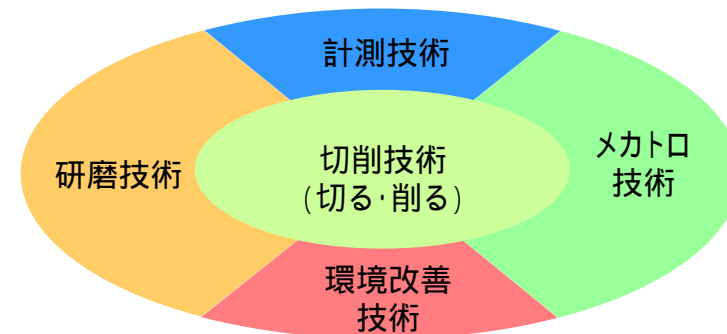
重点施策

NESS (ネス) プラン

従来から進めてきた「ユーザーニーズを見据えた卸業に特化する」という営業戦略を“NESS (ネス) プランと名づけ、当期から更に深化させていきます。

NESSプランとは、

N・・・Naitoが
E・・・Edge領域を基軸に
S・・・お客様のSolutionを
S・・・Supportする



のそれぞれの頭文字からとった言葉であり、当社の強みである切削技術と、それに関連した計測技術、メカトロ技術、環境改善技術、研磨技術に戦力・資源を集中し、お客様のエンドユーザーに対する様々な問題解決 (ソリューション) の実行支援 (サポート) をし、お客様との共存を図る体制を構築していきます。

具体的には、素材、業界、新商品、加工技術などをテーマにしたNESSセミナーの開催や、メーカーの工場見学会や複数メーカーによる加工実演会の主催などを通じ、お客様にとって最適な商品と最高のサービスを発掘・開発し「情報と技術の商社」としての価値を高めていきます。

今後とも広くお客様のニーズに応えられる、お客様にとってなくてはならないNaitoを目指していきます。

業績予想

平成22年2月期の業績予想 (平成21年3月1日～平成22年2月28日)

		対前期増減率 (%)
売上高	26,500百万円	37.6
営業利益	710百万円	-
経常利益	460百万円	-
当期純利益	250百万円	-
1株当たり 当期純利益	51.51円	-

本業績予想は発表日現在における事業環境及び入手可能な情報に基づき作成しております。
実際の業績は、今後の経済状況、事業環境の変化により異なる可能性があります。

4. お問い合わせに関して

株式会社 NaITO

経営企画室

03-3800-8614

